



加島希望の家 設立の沿革の碑の前で

あなたが楽しく仕事をすれば利用者も楽しい エンパワーメントを引き出す支援を 歴史受け継ぎ変化に対応できる組織へ

仕事の魅力と出会って 「人間尊重 | を理解

――理事長に就任されて、いま一番 訴えたいことは?

酒井 「変化に対応できる組織へ」 です。社会福祉を取り巻く状況は 日々刻々変化しています。諸先輩方 が培ってきた加島友愛会32年の歴 史や思いを継承しながら困難な局面 を乗り越えていきたいと思います。

――これまでは実務の中心でした。

酒井 業務執行理事として各施設の 運営管理の総括や施設整備、新事 業の立ち上げ、それらに伴う土地の 取得など、法人事務局と一緒に進め てきました。

――福祉職員としてはどのようなお 仕事をされてきたのですか?

酒井 24年前に非常勤職員として 加島希望の家に入職して、障害の ある方の就労支援に長く携わってき ました。何も無いところから事業を 作ってきて、今では加島友愛会の障

害者就労支援事業は世間からもそこ そこ認めてもらえるような存在になり ました。感慨深いですね。障害のあ る方が働くことと自分が働くことが重 なるような、就労支援という仕事自 体の魅力に出会えたことは大きかっ た。そして、そこで得た経験を法人 のいろいろな業務にも活かせてきた んじゃないかと思っています。加島 友愛会の理念に「人間尊重」があり ます。他者を尊敬することで自らが 解放される。これを実現するための 実践方法が「社会的包摂」であり「エ ンパワーメントを引き出す支援」で あり、そこを拡充することが我々の 使命だと思っています。障害のある 方の就労支援もその一環としてうま く噛みあい、成長できたのではない でしょうか。

――事業面ではどのような展望をお 持ちですか?

酒井 介護分野では既存の事業を 軌道に乗せたり、安定した運営を目

指します。障害分野では、利用者さ んの親亡き後の暮らしが大きな課題 です。就労支援では、新たなニーズ にどう対応していくのか。この二つ を重点的に考えたいと思います。ま た、その他にも障害や介護の問題だ けではなく、生きづらさを感じてい る方もたくさんいらっしゃると思いま す。そういった方々に対しても、相 談できたり頼れる存在でありたいと 思っています。地域貢献事業では、 地域住民送迎(コミュニティーワゴン) を行っていますが、その他にも公的 サービスではできない独自のサービ スを考えていきたいと思っています。 このように、新たな福祉課題を解決 していくには、人材が不可欠なので すが、その人材を確保することも容 易ではない状況です。

2025年最大化するニーズ 外国人材の戦力化を

――人手不足は克服できそうです

か?

酒井 今まさにぶち当たっている最 大の壁が人材不足で、年々深刻さを 増しています。2025年に団塊世代 の全員が後期高齢者になり、そこか ら10年は福祉のニーズが最大化し ます。しかし現状を鑑みると、加島 友愛会のみならず社会全体としても、 これらに対応できるのかという不安 や課題を感じています。

――人手不足を補うための対策は? 酒井 よく言われているのが、ICT などの活用による業務の合理化を図 ることです。しかし、業務が合理化 されると、介護や支援の本質である 利用者さんに寄り添うことや利用者 さんの大事なサインや発信を見逃す かもしれません。私たちはそれらのリ スクも理解した上で、ICTなどの上手 な活用を目指す必要があるでしょう。

――外国人人材はどうでしょう? 酒井 外国人人材は現在 9 名。べト ナム、ミャンマー、インドネシアから 来てくれています。最初に受け入れ たのは2017年でしたが、その時は 日本の介護を勉強してもらうという感 覚でした。しかし今は戦力としての 人材確保という位置づけです。戦力 化のためのノウハウが不足しており、 他所の事例を見学したり手法を取り 入れながら外国人人材が独り立ちで きるシステムを作っていく必要があり ます。今在籍している9名も安定し ているように見えても、想像以上に 孤独であったりとか、なんとなくぼん やりと理解したまま物事が進んでい て、うまく相談できずにモヤモヤし ているかもしれません。そういう部 分をフォローするシステムを構築した いと考えています。そうでないと日 本人職員も負担を感じてしまいます。 これは待ったなしの課題だと思って います。

興味を持てば質も向上 現場からの提案で前へ進む

――日本人職員の育成は?

酒井 この先 10 年、15 年を見据

えて事業を考えたときに、幹部職員 を育成し、うまく世代交代させていく ことが経営マネジメントとしては大事 です。法人全体の平均年齢が46歳 で私の年も46歳。職員のボリュー ムゾーンも 40 代。 具体的には、 こ このゾーンで一緒に経営を考えてく れる幹部人材にポストを与えながら 育成していきたい。

――幹部職員を育てる一方で、若手 職員に期待することは?

酒井 日々の仕事が忙しいなかで ルーティーンのようになりがちなとこ ろもあると思いますが、自分は何故 この仕事を、この業務を選んだのか、 その原点は忘れずにいてほしい。そ して、利用者さんの立場で、今の提 供されている支援、介護をどう思う かと考えられる職員になってほしいで

――幹部と若手の間にいる職員に対 してはどうですか?

酒井 後輩を思いやること。「鍛え て育てる」「何かあったら言いに来 い」では、いわゆるZ世代には通じ ない気がします。常に気にしてあげ て、こちらから寄り添って確認してあ げてほしい。一方で自分自身はもつ と上を見てほしい。事業運営がどう 成り立っていくのか、上司が感じて いる課題はなにか、福祉業界を取り 巻く状況やトレンド、近隣の事業所は どんな事をしているか…など、興味 を持てば、きっと自分たちのサービ スの向上に繋がります。

――酒井理事長自身は、ほかにも職 責を担っているとお聞きしました

酒井 加島友愛 会での就労支援の 仕事をきっかけに、 国の事業所団体の 代表も担っていま す。そのつながり から、国の審議会 の委員なども務め ています。理事長 としての役割かど うかはわかりませ

んが、障害のある人たちの処遇や支 援者が直面している課題、さらには 福祉サービスのあり方など、これか らも国の施策や政策にも現場の視点 で意見具申していきたいと思ってい

---300 人を超える全職員にメッ セージを発するとしたら?

酒井 「自分が楽しくなければ利用者 さんだって楽しくないよ」です。ど んな仕事でも疲れることや人間関係 の悩みなどあるけれど、根底に、仕 事しながら楽しむという気持ちを持つ ことが大事。時々でいいので「楽し めてるかな」と我が身を振り返って みてほしい。そして、より良いサー ビスを提供していくためにたくさん意 見をあげてほしい。現場にいないと わからないことはたくさんあります。 全ての意見を実現できるかわからな いが一緒に考えることで物事を前へ 進めていけるんじゃないか。そうい う流れを作りたいので協力してくださ (10

――利用者の皆さんや地域の方々へ のメッセージもお願いします。

酒井 数ある福祉事業者の中から加 島友愛会を選んで頂いてありがとう ございます。地域の皆様にはいつも 温かいご支援を賜りありがとうござい ます。これまで、培ってきた皆様か らの信用・信頼を大切にし、これか らも「この地域に加島友愛会があっ てよかったな。」と思ってもらえるよ う、職員一丸となって取り組んでい きたいと思っていますので、よろしく お願いします。



加島希望の家の利用者さんと



障害のある人も 一緒があたりまえ 無資格で飛び込んだ現場

――なぜ福祉の仕事を選んだのです か?

新井 私はお爺ちゃんお婆ちゃん子 で、その祖父母がヘルパーさんのお 世話になるようになってきたなかで、 私も専門知識や技術を身につけ役に 立ちたいと思ったからです。

花田 兄が障害を持っていたので、 障害者支援の仕事をしたいとは思っ ていました。子供が小学校に上がり 負担が減ったときここの募集が出た ので飛びつきました。

松村 子供が好きだったので保育士 の資格を取ったのですが、その時の 実習で知的障害の方の入所施設へ 行き興味を持ちました。その後、知 的障害児の放課後デイサービスでの アルバイトを経て、こちらの方へ進 もうと決めました。

水津 この加島の地域で生まれ育 ちました。近くに加島希望の家やア ンダンテ加島があり、小学校では障

害のある子もずっと一緒のクラスで、 支援学級みたいなのはなくて教室の 中に重度障害の方のベッドもあり、 それがあたりまえでした。校外学習 や修学旅行では、障害のあるクラス メートに対する偏見や差別を目の当 たりにして、障害者福祉に携わりた いと一層強く思いました。今、訓練 を経て一般企業に就職した障害のあ る方をサポートする業務をしていま すが、専門学校時代に加島友愛会 に実習に来て「こんな支援があるん や」と、この仕事を希望しました。

諏訪 高校を出て、家電量販店に 就職しました。両親は私に看護師に なってほしくて看護系コースのある 高校に行ったのですが、私には向か ないと思いました。もともと福祉に 興味があったので、介護士になりた いと話したところ猛反対され、「他の 仕事に就いて二十歳の時点でまだ福 祉の仕事をしたいのなら | と言われ ました。家電量販店で4年ほど働き 「やっぱり福祉の仕事をしたい」と 両親に告げると、「そこまで思うの



車イス移乗

ならやってみ」と。ただ、何の資格 もなく何から始めればよいかもわか らず、たまたま知り合いだったリュミ エール加島の前施設長に、「福祉の 仕事をしたい」と相談したら、「見 学に来てみては」と誘われ、行って みたのですが、あらためて「この仕 事をしてみたい と思いました。全

くの無知で無資格で、最初はお手伝 いみたいなところから始めたのです が、日々出勤しては利用者さんとお 話しているだけ。今思えば同僚の方 にはメッチャ邪魔だったんじゃないか と(笑)。一人でも多く働き手がほし いのに (笑)。

看取りで初めて触れた死 5年目が一番つらかった

――長く続けてきたら、つらいこと 辞めたくなることもあったでしょう? 花田 5年目くらいが一番つらかっ たです。下と上から求められること が増えてきて間に挟まれることが多 くなってきたころです。泣きましたね (笑)。上司の前で泣いて、すっきり して、次の日から切り替えてまた仕 事をしているという感じでした。

新井 僕は特別養護老人ホームで 働いているので、看取りで利用者さ んが亡くなっていくのが気持ち的にし んどかったです。それまで人の死に 触れることはなかったので…。でも 学べることもたくさんあり、今では後 **輩たちに亡くなっていくときの呼吸状** 態の変化を教えたりします。

松村 最初のころは自閉症の方と のコミュニケーションが難しかったで す。勉強はしてきたつもりでも、実 際の場面ではうまくいかなくて…。 求めや訴えがあり、あれこれ考えて 対応しても納得してくれなかったり、 要求がどんどん増えていったり…。 そういうときに先輩から丁寧に教えて もらい、助けられました。

水津 就職先を訪問して、仕事は順 調か困ったことはないかなどの聞きと りや、働く姿を見て、現場に出向き フォローしています。ほぼ一人で行 くのですが、職場でのトラブルなど、 どう助言、指導したらよいか悩みま す。その場で解決策が見つからない 場合は持ち帰って同僚や上司にも相 談します。でも、大変だと思ってい ても辞めたいと思ったことはないん です。

諏訪 しんどいと感じるときもありま

すが、職場の方に助けていただい ている部分が大きいです。子供が熱 を出して急に休まなければいけない ことや、時には3~4日休むことも ありますが…。去年4月から今年の 3月末まで育休を取っていたのです が、その間も皆さん連絡くれていた し、横にも縦にも風通しのよい職場 だったのですんなり復帰できました。

何もできず詫びる私に 「辞めずに続けて」と

---10 年近く続いたのはつらいこと 以上に楽しかったからでしょうね。

花田 1年を通してつきあうなかで、 何を考えているか言葉がなくてもわ かるようになってきたとか、私を求め てくれるようになったと感じることで モチベーションが上がります。むしろ 私の方が利用者さんから持ち上げて もらっていると感じることがあります ね。それが 10 年続いた理由かな。

新井 お爺ちゃん、お婆ちゃんから 僕の知らない地域の話や戦争の話 などを聞かせてもらうのがおもしろ く、若い僕を可愛がってもくれるの で、それが嬉しくて長続きしました。 今はリーダーとして責任も重くなり、 上と下に挟まれることもありますが、 あまり深く考えないタチなので大丈 夫です。

松村 利用者さんが何を考えている のか、求めているのか、それがわか るようになり、コミュニケーションが 取れるようになり、喜んでもらえるよ うになると、こちらも嬉しくなります ね。かつて先輩から丁寧に教えても らったように、今は自分が教える立 場ですが、人間関係が良好なのも長 く続いている理由だと思います。

水津 あるコミュニケーション研修 で、「相手が突発的なことを言ったり、 感情にまかせて訴えてくるときは、 たいてい何か困っているとき」と聞 いてから、企業の担当者の方でも利 用者さんでも「怒ってるのは、その 分困ってるんやな」と思うようになり、 「どこに困ってるんやろ」と冷静に

考えられるようになりました。後輩に も教えていきたいところです。学び、 気付きなどもあり 10 年続けてこられ ました。

――楽しいことつらいことで印象に 残っているのは?

新井 看取りで亡くなられた方のご 家族が、僕が不在の時に加寿苑に見 えられて、「新井さんに会いたかっ た」と言っていただいたことが嬉し く印象に残っています。ご家族との 関わりも大切だとあらためて感じまし た。

松村 外出を楽しみにしている方が 多く、思い通りにはいかない企画も あったのですが、それでも外食した り日帰りや一泊で旅行を楽しんでい る利用者さんを見るとよかったなあと 思いました。

花田 コロナ前まで毎年一泊旅行を していたのですが、すごく楽しんで くれて、いつもの生活の中にはない 笑顔を見せてくれるので、私たちも 嬉しくて…。まる一日、夜中も一緒 という、年に一回の楽しみと眠れな いつらさ(笑)。楽しみと大変さが一 緒くたになっていたのが印象に残っ ています。

水津 就職していった OB さんたち



余暇材を使った支援風景

3 / クローズアップ UI

と日帰り旅行に行ったことが楽しかっ たです。嬉しかったのは、OBさん が勤めている会社を訪問して、「す ごい戦力になっているよ」「いなかっ たら大変やわしなどと、頼りにされ ているのを知ったときです。

諏訪 初めての夜勤で巡視に行った とき、お部屋でトイレに座ったまま亡 くなられている方がおられ、マニュ アルは読んでいるけれど、いざ目の 当たりにして、どうしてよいかわから ず…。もう一人の夜勤の方が適切に 動いてくださったのですが、何もで きなかったことをしばらく引きずって いました。後日、ご家族が私を訪ね てきて、「見つけてくれたのはあな たですか」「その時のことを教えて ください」と言われ、状況をお話し たのですが、初めてのことでほとん ど何もできなかったことをお詫びし て泣いてしまいました。でもご家族 の方は「見つけていただいてありが とう」と言い、「これで辞めずにこ の仕事を続けてください」と慰めて いただきました。今でも一番印象に 残っています。



就労支援の1コマ

できない⇒できる 10年どころか半年一年

――10年近い歳月のなかで職場や 利用者さんの変化を感じますか?

花田 私が入職した時期と同じころ に支援学校から来られた自閉症の利 用者さんがいて、最初はこれも気に なるあれも気になると全然落ち着か なかったのが、年数を重ねるごとに 落ち着いて過ごせるようになりまし た。お母さんが亡くなりグループホー ムに入るときも落ち着いていました。 自閉症の方は場所の変化に影響され やすいのですが、年月を経て臨機応 変に対応できる方もいることを知りま した。変化のきっかけはなんだろう と考えています。

水津 入職して 10 年、Link がで きて17年経つので最初のころに就 職していった人たちはそれなりの年 齢になっています。高齢になり働く のが難しくなってきた人も増えつつあ ります。現在、Link に通われてい るのは知的障害のある方が中心です が、発達障害の方も増えてきました。 最近はネットで情報が手に入るので 福祉サービスについてはご家族の方 もよく知っておられます。専門職なら ではの情報提供をしていかなければ と日々思います。「こういう支援が あるんや」と思って働き始めたので すが、10年経た今も「おもしろい」 と思います。奥深いしまだまだ勉強 が足りません。

新井 高齢者施設の場合、基本的 に時間の経過とともに、今まででき ていたことができなくなるという変化 を日々感じます。入院前後の変化も あります。コミュニケーションも難し くなったり…。認知症の方と関わる ようになって、伝えたいことが伝わら なくなることも感じました。癇癪(か んしゃく) を起こす人もいますが、そ ういうときは気が済むまでそばにいる ようにします。何か言ってもよけいに 怒ったりするので、そっと近くにいる ようにします。

諏訪 私の所も高齢者施設ですが、 入職したころに比べて、利用者さん ががらりと変わっています。 10 年ど ころか、育休で休んでいた 1 年だけ でも、亡くなられた方、新しく入られ た方、1年前まで歩けていた方が車 椅子になっているとか、半年や1年 でこんなに変わるんやということをあ らためて実感しました。

松村 アンダンテ加島は障害のある 方の入所施設ですが高齢化が進ん でいて、加寿苑に行かれた方もおら れます。高齢者福祉の知識が乏しい ので、リハビリ関係など高齢者の支 援ができるよう勉強していかなけれ ばと思います。

幅広げるためケアマネ挑戦 気になる「累犯障害者」

――今後やってみたいこと、取り組 んでみたいことは?

松村 副主任になったので主体的に 動きたい。楽しいことが好きなので 余暇とか行事とかイベントをやってい きたいです。高齢化しているので施 設内でできるイベントを考えていけた らと。介護技術はしつかり勉強して 資格を取りたい。他施設との交流も したいですね。

諏訪 コロナも落ち着いてきたので 皆さんが楽しんでもらえることを企画 できたらと思っています。以前して いた運動会とか夏祭りとか外食とか お出かけとかも徐々に復活していき たいです。

新井 福祉の幅を広げるためにケア マネの試験に挑戦してみたいです。

水津 Link は毎年新しい事にチャレ ンジしていますが、個人的には、福 祉サービスに繋がれず行政にも見つ けてもらえないなかで犯罪を繰り返 す累犯障害者(※)が気になってい ます。障害特性を周囲から正しく理 解や対応されずに犯罪を繰り返して いる人がいます。Link ができて5 年後に私は入り、先輩たちが積み重 ねてくださったことを実践、アレンジ しつつやっているんですが、光が当 たってないところに目を向けたらもっ と出来ることもあるんじゃないかと 思っています。



食事介肋

花田 障害部門の利用者さんも高齢 化は進んでいますが、これまで障害 部門で経験を積んできたので高齢部 門の専門性があまりありません。機 会があれば、高齢の方の介護知識も 習得してみたいです。

――後輩やこれから福祉職を目指す 人へのメッセージがあれば。

新井 悩み事があればいつでも相談 に乗ります。人手不足で大変ですが 皆で助けあっていきましょう。

松村 難しいと思うことはたくさん あるでしょう。僕もうまくいかなかっ たことが多かったけれども、その分、 うまくいったときにはやりがいを感じ 嬉しいし楽しい。いま働いている場 所が合わなくても、自分に合う所も あると思うので、福祉の仕事は続け ていってほしいです。アンダンテ加 島内であれば自分にできることはし てあげるつもりですが、違う施設を 見てくるのもよいかもしれな い。実際に異動した方もおら れるし、上司とも相談はでき るし、紹介もしたいと思いま す。

水津 うちの事業所は、いろ んな事にチャレンジさせてもら えるので、「こんな事に興味 がある | 「これをやってみた い」と言ってもらえれば、「こ の研修受けてみる? とか「あ の先輩と一緒に行ってみる?」 とか反応してくれます。一 年目の人は業務をこなすので

いっぱいだと思いますが、余裕が出 てきたときには言葉に出してみてほ しい。協力してもらえるし、自分が 提案したことが現実になったら自信も つきます。

諏訪 リュミエールは職員の年齢幅 が広く、私の下が20代前半で上が 40歳前後。 ギクシャクした職場では ないのですが、後輩たちは上に意見 が言いにくいこともあると思います。 ベトナムやインドネシアの支援スタッ フの方もおられますが、何でも言っ てこられるし、仕事に関しても日本 語に関しても勉強熱心で、少しでも 疑問に思ったことは積極的に聞いて きて、こちらが「何だっけ?」と一 緒に勉強させてもらうことも多いで す。いつでも。何でも聞いてきてく ださい。

花田 介護職は体力的、精神的にも 疲れてしまう事もありますが、利用 者さんとの関わりで楽しいことを感じ たり、新しい気づきもあったりするの で、自分を成長させてくれる仕事だ と思います。

※田島良昭(社会福祉法人南高愛隣会理事長) らの2006~8年の研究によれば、刑務所に 服役している知的障害者 410 人のうち、再犯 者が7割を占める。一方で公的福祉を受けら れる「療育手帳」所持者は26人しかいなかっ た。(厚生労働科学研究成果データベースより)



創作活動の様子



新井基生 (あらいもとき) 特別養護老人ホーム「 加寿苑』 ケアワーカー リーダー 2015年3月入職 8 年日 友人と旅行をしたりお酒 を飲んだりしてリフレッ シュ。童顔なので時々年 齢確認をされることも。



花田智香 (はなだちか) 障害者通所施設 『 かしま 障害者センターむつみ』 生活支援員 副主任 2013年2月入職 10 年日 ストレス解消法は、ひた すら韓国ドラマを見て没 頭すること。



松村一輝 (まつむらかずき) 障害者入所施設『 アンダ ンテ加島』 生活支援員 副主任 2010年3月入職 13年日 職場のフットサルチームで 体を動かしてリフレッシュ。



水津由依 (すいづゆい) 障害者通所施設『 かし ま障害者センター Link (リンク) 」 職業指導員 主任 2013年3月入職 10年目 甲子園でカレーを食べな がら応援することが大好



諏訪萌 (すわもえ) 介護付有料老人ホーム「 リュミエール加島』 ケアワーカー 2014年7月入職 8年日 育児休業が明け4月から 職場復帰。趣味の旅行に 家族 3 人行ける日を楽し

誰もが自分らしく安心して暮らせる温もりのある地域社会を目指して



T 532-0031

大阪市淀川区加島 1 丁目 60-36 TEL.06-6101-6601 FAX.06-6308-7299

e-mail 1991@kashima-yuai.or.jp URL http://www.kashima-yuai.or.jp







●かしま障害者センター

〒532-0031 大阪市淀川区加島 1 丁目 60-36 TEL.06-6308-7206 FAX.06-6308-7299

むつみ(生活介護事業・就労継続支援事業 B 型)

e-mail mutsumi@kashima-yuai.or.jp

地域生活支援部(障害者グループホーム)

e-mail kashima-chiikiseikatu@kashima-yuai.or.jp

- ●加島苑●セッション●チューリップ●あさがお
- ●カナリヤ●うぐいす●ひのき●トレフル

ヘルパーステーション トレフル (障害部門)

e-mail trefle@kashima-yuai.or.jp

(就労移行・就労継続支援事業 B 型・自立訓練・就労定着支援) TEL.06-6308-7210 FAX.06-6308-7220

e-mail link@kashima-yuai.or.jp

障害者就労支援事業部

TEL.06-4805-2485 FAX.06-6308-7220 e-mail kashima_jc@kashima-yuai.or.jp

"COCOLO"相談支援センター

(地域活動支援センター (生活支援型)・特定相談支援事業・一般相談支援事業) TEL.06-6308-7209 FAX.06-6308-7220 e-mail cocolo@kashima-yuai.or.jp

②ル・プラス (就労継続支援事業 A 型)

〒 561-0843 大阪府豊中市上津島 1 丁目 4-3 TEL.06-6151-3701 FAX.06-6151-3810 e-mail re.plus@kashima-yuai.or.jp



❸加寿苑 特別養護老人ホーム

- ●特別養護老人ホーム●ショートステイ●診療所
- ●デイサービスセンター

〒532-0031 大阪市淀川区加島 1 丁目 34-8 TEL.06-6305-0711 FAX.06-6305-0773 e-mail kajuen@kashima-yuai.or.jp

ホームヘルプセンター 加寿苑 (高齢部門) TEL.06-6306-6205 FAX.06-6305-0773

淀川区西部地域包括支援センター

TEL.06-6305-0737 FAX.06-6305-0738 e-mail yodogawa-seibu@kashima-yuai.or.jp

4アンダンテ加島 (施設入所支援・生活介護事業) 〒532-0031 大阪市淀川区加島 1 丁目 36-46

TEL.06-4806-6780 FAX.06-4806-6781 e-mail andante@kashima-yuai.or.jp



⑤加島希望の家(生活介護事業)

〒532-0031 大阪市淀川区加島 1 丁目 49-21 TEL.06-6390-5666 FAX.06-6302-2551 e-mail kibou@kashima-yuai.or.jp



⑥リュミエール加島 介護付有料老人ホーム

〒532-0031 大阪市淀川区加島 4 丁目 16-35 TEL.06-6308-7788 FAX.06-6308-7799 0120-087-322

e-mail lumiere@kashima-yuai.or.jp



体験利用

▽リベルテ加島 介護付有料老人ホーム

〒532-0031 大阪市淀川区加島 1 丁目 38-20 TEL.06-6305-5750 FAX.06-6305-5756 <u></u> 0120-991-707 e-mail liberte@kashima-yuai.or.jp





表紙の写真

高架からの線路風景

画 法人機関誌検討委員会

市村賢一、西岡剛、篠原卓也、十倉伸二、 山下修一、北村智之、森本香奈枝、北川将大

編集協力 新島洋 デザイン 桐田博子

刷 (財)浪速振興会



